

「京銀ネクストファンド」第4号案件への投資について
～株式会社 シカタ経営陣によるMBOをサポート～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）は、事業承継ファンド「京銀ネクストファンド」により株式会社 シカタ（京都市山科区、代表取締役 大庭 祐司）の株式取得を行い、同社経営陣によるBRUNO株式会社（東京都港区、代表取締役社長 森 正人）からのマネジメント・バイアウト（以下、MBO）※を支援いたします。本案件は「京銀ネクストファンド」における第4号案件となります。

京都銀行グループでは、今後もお客さまのさまざまなニーズにお応えできるようサポート体制を充実させ、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

※マネジメント・バイアウト（MBO）… M&A手法の一つで、会社の経営陣が金融支援を受け、自ら自社の株式等を買取り、経営権を取得すること

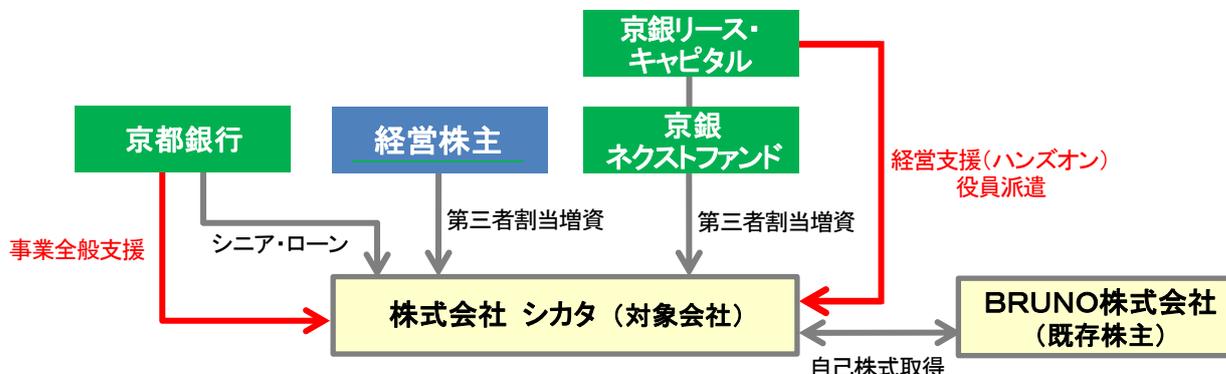
記

1. 本件概要

本件は、株式会社 シカタ経営陣によるMBOを当行グループがサポートする案件です。

業歴50年を超える対象会社が独立企業としてさらなる成長を目指すために実施する今回のMBOでは、京都銀行とグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）によって2021年3月に設立された「京銀Next Stage 2021ファンド投資事業有限責任組合（略称：京銀ネクストファンド）」が第三者割当増資によりBRUNO株式会社から株式会社 シカタの株式取得を行うとともに、当行が株式会社 シカタに対するシニア・ローンに取り組むことで、株式会社 シカタ経営陣によるMBOを支援しております。

<スキーム図>



2. 京都銀行の取組

当行では、取引先の事業継続や雇用維持、事業発展に際して、円滑な事業承継の支援を積極的に行っています。近年では、多様化する取引先の課題に、様々な解決策でもってお応えしております。

<ご参考>

京銀ネクストファンド概要

名 称	京銀 Next Stage 2021 ファンド投資事業有限責任組合 (略称：京銀ネクストファンド)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継の支援による、取引先の事業継続や雇用維持、事業発展 ・投資後の経営支援による、取引先の企業価値の向上 ・上記過程における、経営者や経営幹部、専門的な知識を有する人材等の紹介や雇用支援
投資対象	当行取引先のうち、後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等
出 資 者	無限責任組合員 (GP)：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員 (LP)：株式会社 京都銀行
ファンド総額	30億円
当行出資額	29億70百万円
設 立	2021年3月16日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

